

6月定例会号

市議会だよりは2月、5月、8月、11月の第2土曜日(定例会号)、1月1日(新年号)に発行します。
今回は9月定例会が開催予定です。



6月定例会

市長提出議案11件を可決

補正予算は待機児童対策緊急対応など

市議会は、平成28年6月定例会を6月10日から6月22日まで開催し、第68代議長に稲葉健二氏を選出しました。



議長選で投票をする議員

6月定例会では、市長から、市川市税条例の一部改正についてなどの議案11件と、報告7件が提出され、これらを一括議題として、7会派が代表質問を行いました。また、議員からは、義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出についてなどの発議12件が提出されました。その他、請願の審議や、17人の議員による一般質問を行いました。本会議での採決の結果、市長提出議案の11件をいずれも原案通り可決・同意しました。議員提出議案については、意見書案6件を可決、意見書案及び決議案6件を否決しました。また、請願4件を採択、3件を不採択としました。(代表質問は2〜4面、一般質問は5〜6面、審議結果一覧は8面に掲載)

議長に 稲葉 健二 氏

4月臨時会を開催

クリーンセンター余剰電力売却契約の状況について市長に報告を求める

市議会は、平成28年4月臨時会を4月22日の1日間、開催しました。4月臨時会は、クリーンセンターが行う余剰電力の売却契約に関する電力料金未払

の状況について市長に報告を求める

売電契約の状況について報告を求める議員発議を全会一致で可決した後、同日、市長の行政報告及びこれに対する議員からの質疑を行いました。その他、臨時会では、市長から、専決処分承認を求める報告4件を含む5件の報告がなされました。また、議会からは、付議事件のほか、発議2件が提出され、採決の結果、2件とも可決しました。(詳細は7面に掲載)

議員の表彰

全国市議会議長会

- 在職25年表彰 金子 正
- 感謝状 中山 幸紀

◆主な議案

○市川市税条例の一部改正について

地方税法の改正に伴い、法人市民税の法人税割の税率を引き下げると共に、市民税の延滞金の計算期間から控除する期間、医療費控除の特例及び太陽光発電設備に対して課する固定資産税の減額に係る割合を定めるほか、所要の改正を行うものです。

【主な質疑】

「条例改正により本市の法人市民税の税収にはどの程度の影響が生じ、その影響額に対して国から何らかの措置はなされるのか。」との質疑に対し、「条例改正による法人市民税の影響額としては、約7億4000万円の減収となる見込みであるが、条例中の当該規定は平成29年度以降に開始する事業年度から適用されるため、実際に影響が出るのは30年度からとなる。また、法人市民税の直接減収分は国税である地方法人税となり、地方交付税の原資とされる。なお、一連の税制改革の中で、都道府県税である法人事業税は、その一部が法人事業税交付金として市町村に交付される予定となっているが、現時点ではどの程度交付されるかは未定である。」との答弁がなされました。

○市川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準(厚生労働省令)が改正されたことを踏まえ、保育の担い手を確保するため小規模保育事業所A型等における職員配置に係る特例を定めるほか、所要の改正を行うものです。

○平成28年度市川市一般会計補正予算(第1号)

一般会計補正予算案は、市川市待機児童対策緊急対応プランの策定や、ふるさと納税制度を活用した熊本地震の被災地支援の実施等を踏まえ、歳出において、私立保育園施設整備費等補助金、被災地見舞金、B型肝炎予防接種委託料など、歳入において、保育対策総合支援事業費補助金、被災地支援指定寄附金など、それぞれ約3億2197万円を追加し、歳入歳出の総額を約1411億2197万円とする措置を行うものです。

◆報告

6月定例会では、継続費の通次繰越し、繰越明許費の繰越しの他、市川市土地開発公社、公益財団法人市川市清掃公社及び公益財団法人市川市文化振興財団の平成27年度決算及び平成28年度事業計画、専決処分の報告2件の、計7件の報告がなされました。